

利用者参加型

URLブラックリスト サービス

BLSV
XES/IIMS

(WEB 公開用)

第1.3版 平成21年2月12日

特許出願中



メールサーバ等から利用する事を前提に設計・制作された DNS の専用サービスです。

本サービスを利用するメールサーバは、メール本文をスキャンして外部のホームページへのリンクアドレス(URL)をチェックアウトし、これを元に本サービスへ問合せを行います。本サービスは、登録されている URL を検索して登録の有無をメールサーバへ返答します。問合せを行ったメールサーバでは、応答の内容によりメールのスパム判断に利用します。

また、ブラックホールリスト(以下ブラックリスト)の URL データに関しては、本サービスを使用する利用者自身の手で登録・運用できると共に、利用者自身のメールサーバ専用のホワイトホールリスト(以下ホワイトリスト)URL を登録することができます。これにより、共通のブラックリストを利用しながら、個別のホワイトリスト機能を使って利用者の意図するスパム判定の基準を作り出せます。

1. システムの特徴

共通ブラックリストを利用する

一つのブラックリストを全ての利用者が共有するので、素早い対応が可能
スパムメールを貼り付けてメールを送るだけで、ブラックリストの登録申請が可能

利用者別(メールサーバ別)にホワイトリストを利用する

利用者単位でホワイトリストを登録できるので、利用者のニーズに合ったスパム判断が可能
得意先などのURLをあらかじめ登録できるので、事前のトラブル回避が可能

利用者別(メールサーバ別)にブラック URL を拒絶できる

利用者任意に、共通ブラックリストへ登録される URL をスパム判断から除外することが可能
共通ブラックリストを直ぐに全て受け入れる設定と、確認するまで自身のスパム判定で使用しない設定を選択可能(除外ブラックリスト機能)

システムへの参加者に必要な様々な機能を提供する

登録ブラックリストの問合せ画面、利用者別ホワイトリストのメンテナンス画面など、利用者個別情報の設定・確認ができる専用サイトを提供

利用者自身の URL や、共通の利益として承認されるべき優良 URL を登録する共通ホワイトリストを提供(登録の審査やメンテナンスは、外部の NPO 団体へ委託)

利用者別に問合せ回数、ブラック判定率などをレポート

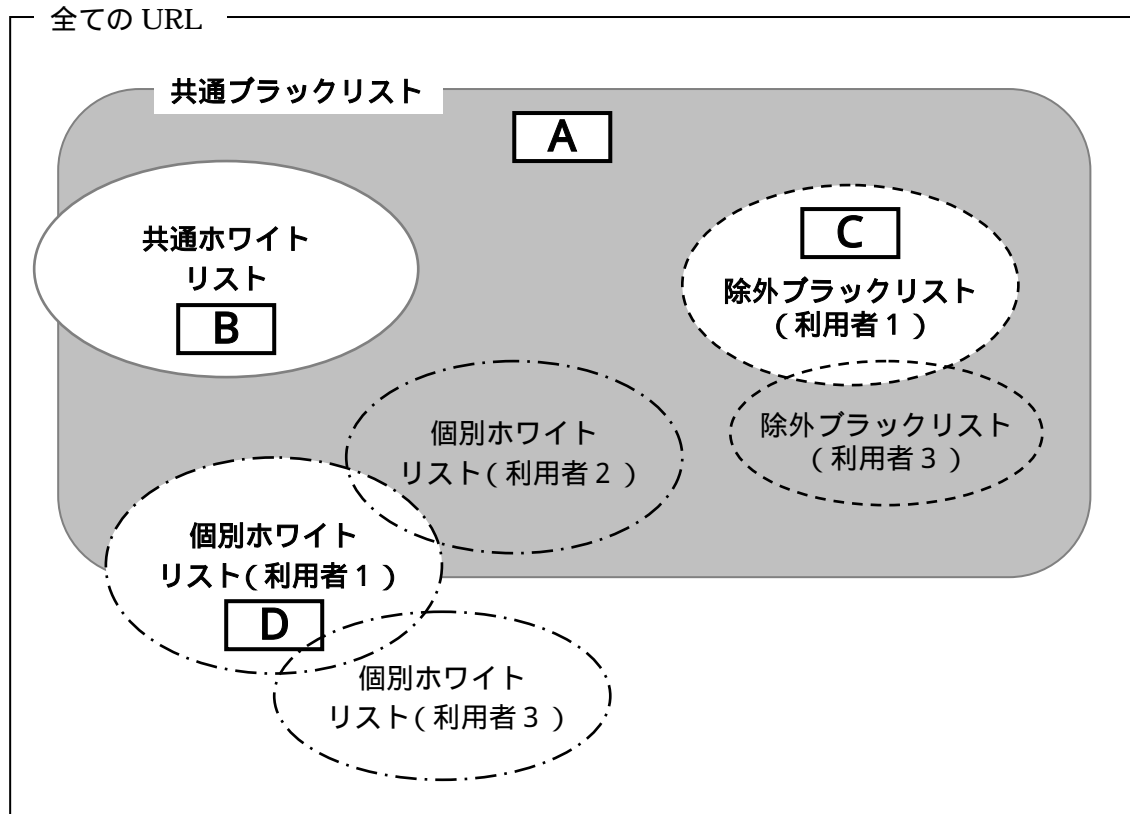
常に最新のブラックリストを提供する

一定期間ヒットしなかったブラック URL はブラックリストから削除
スパマーの手口を解析して、効率の良い対迷惑メール機能を提供



2. 共通であって個別に利用できるブラックリストサービス

独自の管理方式を採用して、共通のブラックリストから利用者個々にローカライズされた個別のブラックリストを提供します。(特許出願中)



A B' (全ての利用者で共通)

共通ブラックリストから共通ホワイトリストを除いたものが標準ブラックリスト

共通ブラックリストの内、共通ホワイトリストに登録されていない URL が標準ブラックリストとして認識されます。オプションの設定で「**共通ブラックリストを直ぐに受け入れる**」設定をしている場合は、この範囲が での個別ホワイトリストを除く前のリストとして使われます。

A B' C' (利用者1を例示)

標準ブラックリストから除外ブラックリスト₁を除いたものが専用ブラックリスト

の標準ブラックリストの内、受け入れを承認していない URL を除いた URL が利用者専用のブラックリストとして認識されます。オプションの設定で「**確認してから共通ブラックリストを受け入れる**」設定をしている場合は、この範囲が での個別ホワイトリストを除く前のリストとして使われません。

A B' C' D' (利用者1を例示)

標準または専用ブラックリストから個別ホワイトリスト₂を除いたものが利用者別ブラックリスト

標準ブラックリスト又は 専用ブラックリストの内、個別ホワイトリストに登録されている URL を除いた URL が利用者別ブラックリストとなり、この範囲が最終的にスパムの判断に使われます。

3. 除外ブラックリスト(1) と 個別ホワイトリスト(2)

1: 除外ブラックリストは、他の利用者が新たに登録したブラックリスト URL を一時的に保持するリストで、オプションの設定で「確認してから共通ブラックリストを受け入れる」を選択した場合に利用者別にシステムが自動的に作成します。

除外ブラックリストに登録されている URL はスパム判断で「スパムでない」と判断されます。また、オプションの設定を「共通ブラックリストを直ぐに受け入れる」に変更すると、除外ブラックリストに残っている保留中の URL は全て削除されます。

2: 個別ホワイトリストは、利用者別にスパムと判断したくない URL を利用者自身によって登録するホワイトリストです。

個別ホワイトリストに登録されている URL はスパム判断で「スパムでない」と判断されます。

除外ブラックリストと個別ホワイトリストは、共にブラックリストを打ち消す効果がありますが、登録と管理の方法が異なります。

	除外ブラックリスト	個別ホワイトリスト
効果	登録されている URL はスパムでない	
利用方法	オプションで選択	常に有効
作成タイミング	他の利用者のブラックリスト登録時にシステムが自動的に作成	利用者が登録
永続的処置	削除して共通ブラックリスト URL を受け入れるか、又は、個別ホワイトリストへ変更	特になし
機能スタイル	他の利用者にブラックリストの登録を任せて、どちらかという消極的運用者向けの機能	積極的にホワイト URL を登録する運用者向けの機能

除外ブラックリストと個別ホワイトリストは同時に機能しますので、運用スタイルに合わせて除外ブラックリストの運用を選択できます。

4. ブラックリスト URL 登録インターフェイス

共通ブラックリストの登録は、契約利用者であれば誰でも登録できます。

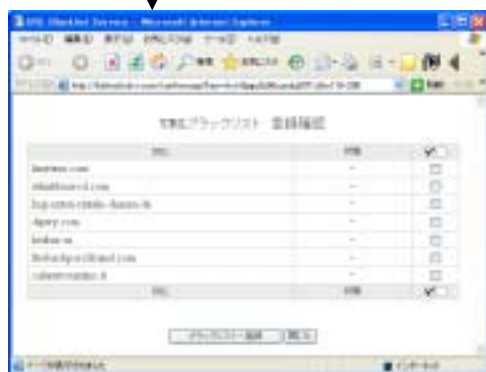
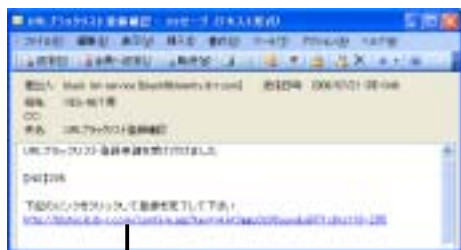
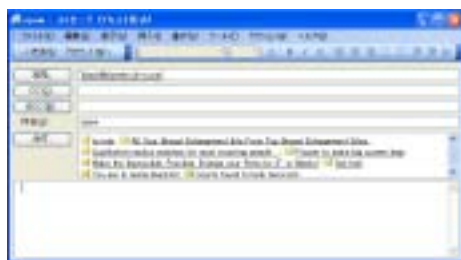
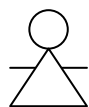
システムへ登録した利用者のメールアドレスから、登録申請専用のメールボックスへメールを送信することでシステムに登録申請できます。

メール本文に `http://~` や `https://~` の形式で直接 URL を記述する方法と、スパムメールとしたいメール自体を送信メールに添付する方法があります。いずれの場合も登録申請で受け付けられたメールの本文をシステムが解析して自動的に URL を取り出します。取り出した URL は直ぐには登録されずに、一旦登録申請者の確認を受ける必要があります。

利用者からの登録申請に対してメールの解析結果を表示する URL を記載した返信メールが届きますので、返信メールに記載されたこの URL を開くことでブラック URL の解析結果を確認します。抽出された URL の中からブラックリスト登録する URL を選択して登録することで共通ブラックリストへの登録は完了します。

以上のオペレーションで登録される情報は登録専用システムで管理され、システムのスケジュールにしたがって、ブラックリスト検索サービスを実行しているサーバへ反映されます。

【利用者】



【ブラックリスト管理システム】

ブラックリスト URL 登録申請

メールの本文を解析して URL を抽出

ブラックリスト URL 登録実行



5. ブラックリスト管理 WEB インターフェース

ブラックリストの検索、個別ホワイトリストの管理、未承認ブラックリスト(除外ブラックリスト)の管理等のユーザインターフェースを提供しています。(詳しくは、ご利用開始時にお知らせします)

6. 利用開始時に登録申請する情報

契約者情報	契約者名、SMTP サーバ IP アドレス等
利用者情報	メールアドレス、利用者名等

7. 利用料金

弊社提供の「専用 SMTP ゲートウェイサーバ」を使用する場合

1ヶ月に発生する URL ブラックリストへの問合せ回数を元に料金を決めます。
メールに記述されているリンクアドレス1つにあたり1回のクエリが発生します。但し、同じメールの中に同じ URL を参照しているリンクアドレスに関しては、重複した問合せは行いません。

専用 SMTP ゲートウェイサーバについては1ヶ月間の試用利用が可能なので、この期間に機能の確認と、料金の予測を行って下さい。

単位:円

月間クエリ数	月額料金	税込み価格
~3万	3,000	3,150
~4万	3,600	3,780
~5万	4,000	4,200
~6万	4,400	4,620
~7万	4,800	5,040
~8万	5,200	5,460
~9万	5,600	5,880
~10万	6,000	6,300
~15万	7,600	7,980
~20万	8,000	8,400
~30万	9,000	9,450
~40万	10,000	10,500
~50万	11,000	11,550
~60万	13,000	13,650
~70万	15,000	15,750
~80万	16,800	17,640
~90万	18,500	19,425
~100万	20,000	21,000
以降10万毎に	2,000	

株式会社イー・ポストの「E-Post メールサーバ」又は「E-Post SMTP サーバ」を使用する場合ユーザ数での課金になります。詳しくは株式会社イー・ポストへお問合せ下さい。



8. 利用開始時に注意する点

スパムメールの送信者は利用できません

本システムは、斬新な手法を使ってスパムメール対策を目的としたブラックリストサービスを提供します。

スパムメールを送信する利用者又は、スパムメールを送信する者へサーバを使用させている利用者、スパムメールを送信する者へ情報を提供している利用者、スパムメールの送信を依頼している利用者の登録及び利用を禁止します。

利用開始時にスパムメールを送信しない旨、同意していただきます。

利用を開始した後で契約者が前記のスパムメール送信に関わったことが発覚した場合は、厳正なる審査の後、登録・利用の継続可否を判断します。判断にあたっては、外部 NPO 団体などの協力を得て実施します。利用者サーバシステムの不具合や、外部からの攻撃などの被害の結果スパムメールが送信されたなどの、意図しないケースに於いては対応を考慮します。

共通ホワイトリストの管理について

共通ホワイトリストは、システム全体のブラックリスト強度に影響する重要な情報である為、登録にあたっては、外部の NPO 団体内に組織される「共通ホワイトリスト登録審査会」へ登録審査を依頼します。但し、登録利用者自身の保有する URL は登録申請時のシステム利用同意をもって審査 OK と判断します。また、システム運用管理者が必要と判断したものは審査の承認を得ずに登録することもあります。

一旦登録されている共通ホワイトリスト URL でも、多くの利用者からブラックとの申請を受け付けた場合は、再度審査を実施して登録継続の可否を判断します。

利用者自身の保有する URL でなくとも、共通の利益につながるであろう URL は利用者からの申請を受け付けます。

外部 NPO 団体内に組織される「共通ホワイトリスト登録審査会」へは、本システムの利用者が希望すれば参加できます。(但し、NPO 団体側の基準での審査があります)

本システムは、一部のメールサービスを提供するサーバ製品に限定したサービスです。

平成 20 年 10 月 1 日時点で、本サービスは弊社の提供する「専用 SMTP ゲートウェイサーバ」又は、株式会社イー・ポストの製品である「E-Post メールサーバ」と「E-Post SMTP サーバ」などに対応しています。

利用者メールサーバから本サービスを利用するインターフェイスを提示します。

本サービスは、DNS サーバインターフェイスの一部をサポートします。本サービスを利用するには、利用者を特定する為に利用者メールサーバの IP アドレスを通知する必要があります。これは少量のメールサーバソフトの変更で対応できますが、専門の知識と技術を要します。

オープンソースのメールサーバソフトをカスタマイズしてご利用の方や、メールサーバソフトの開発者やメールセキュリティー製品開発者向けに、インターフェイス仕様を公開する事を予定し



ています。

自社で DNS サーバを設置している場合、環境によってはカスタマイズなしにご利用できます。
自社専用の DNS サーバを設置している環境があれば、DNS サーバへ情報を設定することで
本サービスをご利用いただける場合があります。

以上、詳しくは下記までお問合せ下さい。

〒179-0085 東京都練馬区早宮 1-18-15

株式会社 エクセス

<http://www.xes.ne.jp>

<mailto:info@xes.ne.jp>

TEL : 03-3991-5716

FAX : 03-3991-3896

担当 : 原

